

新穂
資料館 友の会だより
第六十四号

『渡辺昭子』写真展

展示期間

令和8年3月7日(土)から

4月5日(日)まで

作品解説会

3月8日(日) 午前10時

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

渡辺治さん、昭子さんご夫妻の写真はすでに多くの皆さんがさまざまところでご覧になっていらつしやることでしょう。

新穂資料館では、治さんの写真展を令和5年に開催いたしました。当時はコロナ禍の影響がまだ残り、外出も遠慮がちになるような雰囲気がありました。資料館などの文化施設の活性化のために無料入館措置が導入された年でもあります。

そんな厳しさの中で、治さんの写真展は1ヶ月あまりで来館者が500名に届くほどの盛況でした。

さて、今回は満を持して昭子さんの写真展を開催することとなりました。長年撮りためた自信の作品から二十数点を厳選しての展示となります。また、作品解説会ではどのようなエピソードをうかがえるのか楽しみます。

(企画展予告)

「兵庫哲朗」水彩画展

展示期間

令和8年4月18日(土)から

5月17日(日)まで

作品解説会

5月3日(日) 午前10時

佐渡高校を卒業後、多摩美術大学に進学。長らく工業デザインの職に携わられていらつしやいましたが、十五年ほど前に早期退職されて戻られたとのこと。

欧州の風景を題材にした作品もご出品いただける予定です。

「埋蔵文化財」展(仮称)

展示期間

令和8年5月30日(土)から

8月2日(日)まで

例年好評の埋蔵文化財に関する企画展を準備しています。併設事業も期間中に催される予定です。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

(稲穂のつばやき)

今年(丙午(ヒノエウマ))年です。

私事ですが、教職について初めて卒業させた生徒が丙午生まれの子どもたちでした。当時はツッパリ・リーゼントの時代、なかなか歯ごたえのある生徒ばかりでした。

新年、四十年以上も先生と呼んでくれる生徒の一人とメール交換することになりました。彼は老親の世話のために、大阪本社から郷里の支所勤務に切り替えて単身で帰ったとのことでした。

私の記憶には坊主頭の少年の顔しか残っていませんが、介護の話で共感できるようななるとは思わぬ事でした。(若)

新穂歴史民俗資料館

0259(22)3117

※入館料 大人200円 小中学生100円

(ただし、佐渡市民で65歳以上の方は無料となります。確認できる運転免許証などをご用意ください。)

※月曜休館・入館は午後4時半まで

(月曜祝日の場合は翌日休館)

【令和8年2月10日 発行】